

民俗文化財 有形民俗文化財(信仰)／市指定
やまのたやくしによらいざぞう

山ノ田薬師如来坐像 [G-4]

山ノ田の薬師堂に安置されており、高さ70cm程である。仏像内部に記された墨書銘から、弘治四年(1558)に博多の仏師猪熊治部丞・藤原朝臣運貞の作で、平戸領主の松浦隆信が寄進したものとわかっている。元々田平の弥勒寺にあったが、廃仏毀釈により弥勒寺が廃寺となり、現在地に移されたといわれ、今日まで土地の人々によって守り継がれていた。明治20年(1887)には、平戸の仏師佐田繁穂によって、修理・彩色されたことも台座に記されている。仏像の由来や作者がはっきりしている貴重な存在である。



住 佐世保市江迎町乱橋

TEL 0956-24-1111

P なし

交 なし

案 なし

休 —